# 令 和 ３ 年 度　在宅サービスセンター事業報告

在宅サービスセンターは、浴風会の基本理念の一つである「地域との協働と社会貢献」の実現に向けて、「通所介護事業」と「認知症対応型通所介護事業」の各事業に取り組んだ。

地域の高齢者のフレイル予防や交流の場を提供してきた「みんなの活き活き健康教室」については新型コロナ感染症の影響を受け再開出来ない状況が続く一方で、「ももの木トレーニング」は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された時は、感染予防に注意しつつ少人数の完全予約制で取り組みを再開した。

令和 2 年 2 月以降の新型コロナウイルス感染拡大において、通所介護事業が地域における在宅生活を支えるための重要なサービスであるとの観点から、毎回ご利用者の乗車前検温を行うなど体調の把握を行い、適切な感染対策を実施し安心して利用していただけるようサービス提供に努めた。この間事業所内で感染者を出すことなく運営してきたが、ご家族のなかには感染を心配して利用自粛の判断をされる方もおられた。こうした利用控えの傾向は一般通所介護事業に、より顕著に表れる結果となった。

## １　お客様の状況

(1)　お客様の概況　　（4 年 3 月 31 日現在）

| 事業区分 | 一般通所介護事業 | | 地域密着型認知症対応型通所介護事業 | |
|---|---|---|---|---|
| 年度別 | ２度 | ３年度 | ２年度 | ３年度 |
| 定員 | 40 名 | 30 名 | 12 名 | 12 名 |
| 年間延べお客様数 | 7,426 名 | 6,010 名 | 2,628 名 | 2,945 名 |
| １日平均お客様数 | 26.3 名 | 21.4 名 | 8.6 名 | 9.5 名 |
| 利用率 | 61.1% | 65.2% | 74.1% | 81.8% |
| 新規契約者数 | 7 名 | 26 名 | 15 名 | 6 名 |
| 契約終了者数 | 28 名 | 35 名 | 10 名 | 10 名 |
| 年度末契約者数 | 80 名 | 73 名 | 28 名 | 29 名 |

※認知症対応型通所介護は、サービス提供時間延長分を換算。

(2)　介護度の状況　　（4 年 3 月 31 日現在）

| 事業区分 | 一般通所介護事業 | | | | 地域密着型認知症対応型通所介護事業 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度別 | ２度 | | ３年度 | | ２年度 | | ３年度 | |
| 月平均 | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 要介護 5 | 2 | 2.5 | 1 | 1.4 | 8 | 25.0 | 12 | 41.4 |
| 要介護 4 | 3 | 3.8 | 1 | 1.4 | 2 | 6.4 | 3 | 10.3 |
| 要介護 3 | 11 | 13.8 | 13 | 17.8 | 11 | 34.4 | 6 | 20.7 |
| 要介護 2 | 14 | 17.5 | 18 | 24.7 | 6 | 18.6 | 6 | 20.7 |
| 要介護 1 | 40 | 50.0 | 31 | 42.5 | 5 | 15.6 | 2 | 6.9 |
| 要支援 2 | 3 | 3.8 | 2 | 2.6 | | | | |
| 要支援 1 | 7 | 8.8 | 7 | 9.6 | | | | |
| 合計 | 80 | 100.0 | 73 | 100 | 32 | 100.0 | 29 | 100.0 |

## ２　施設運営の実施状況

### １．南陽園在宅サービスセンター

#### １　運営の基本方針

ア　サービス計画に基づくサービス提供

アセスメントに基づいたひとり一人のニーズに応える通所介護計画、及び個別機能訓練計画を策定し、定期的なモニタリングを実施してサービスの提供に当たった。

サービスプログラムは、機能訓練の他唄やゲームなどのレクリエーション、紙細工などのアクティビティ、散歩等がある。

イ　居宅での生活継続支援

ご家族ニーズに沿って毎日曜日、12 月 30 日、大晦日、正月 3 が日及び積雪による休業を除いて営業し、実施日数は 308 日であった。

ウ　地域ケアマネジャーとの連携強化

担当ケアマネジャーや他のサービス事業所担当者が参加するサービス担当者会議に 15 回参加し、関係機関との連携を深めるように努めた。

エ 積極的な情報公開

ホームページを随時更新し、情報公開を行った。

## 2 各サービスについて

### (1) デイサービス（認知症対応型通所介護事業）

① 年間平均利用率は 81.8%（時間延長換算分を含む）だった。上半期を中心に比較的好調に推移したが、新型コロナウイルス感染症の第 6 波と呼ばれた都内感染者がピークを迎えた時期は感染拡大による利用自粛が見られることとなった。なお時間延長ご希望のお客様には 7 時間のサービスを提供した。

② 新規契約数は 6 件であり、 令和 4 年 3 月末現在の契約者数は 29 名である。なお、契約終了者は 10 名で、内訳は施設入所 4 名、死亡 1 名、その他 5 名であった。

③ ご希望の高い入浴サービスについては、可能な限りニーズに応え、実施した。

④ 個別機能訓練計画に基づき、歩行訓練、関節可動域訓練、体操などを実施した。エアロバイク等のリハビリ機器も活用し、お客様の脚力の維持・強化に取り組んだ。

⑤ 実施行事

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4 月 | お花見週間 | 12 月 | 年忘れ会 |
| 7 月 | 七夕会 | 1 月 | 新年会（初詣）（中止） |
| 8 月 | 納涼会 | 2 月 | 節分 |
| 9 月 | 敬老会 | 随時 | 誕生祝 |

⑥ ボランティアの受け入れ

ボランティアに関しては、新型コロナ感染症における飛沫感染予防の観点から、一部活動を停止またはボランティアご自身による活動自粛があった。ご協力いただけるボランティアについては、職員同様の日常的な感染対策を求めて、活動の継続を依頼した。

利用者支援ボランティア　　59 回

⑦ 運営推進会議

杉並区、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、地域住民代表、ご家族が参加する運営推進会議については、6ヵ月おきの開催が求められているが、令和元年10月に開催したのを最後に直接対面での開催が出来ず、全て文書による報告に切り替えている。

⑧ 災害時対策（災害伝言ダイヤル）

ＮＴＴ東日本が災害時、臨時開設する「災害伝言ダイヤル」を活用し、電話が繋がらない状況でも、ご家族の不安を軽減出来るよう、お客様の安否や送迎の変更などを伝言にて、ご家族に報告出来るようにしている。

**（2）みんなの活き活き健康教室**

高齢者用の筋力向上トレーニングマシンを使用した「みんなの活き活き健康教室」を独自事業として浴風会コミュニティホールにおいて継続実施されてきたが、令和2年度と同様、同ホールの外部貸出が停止されており再開出来なかった。

**（3）自主教室「ももの木トレーニング」支援**

南陽園と共同して5台のトレーニングマシンを活用し、南陽園機能訓練室を使用して毎週水曜日午後、月2回土曜日午後に実施していた「ももの木トレーニング」教室も、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたときは少人数の完全予約制で毎週水曜日に再開して取り組んだ。

**（4）社会貢献活動（法務省保護局から依頼）**

近隣に居住される、保護観察中の方々（保護司付き添い）にボランティアの場を提供し、社会に貢献できるという意識や社会のルールを守る意識を育む活動に協力しており、令和3年度も予定していたが、結局中止となった。

## ２．第二南陽園在宅サービスセンター

### １ 運営の基本方針

ア サービス計画に基づくサービス提供

お客様の生活状況等についてスタッフ間で情報共有を図り、居宅サービス計画に基づき自立支援の観点からサービス計画を立案し、サービス提供に努めた。

イ 地域ケアマネジャーとの連携強化

在宅におけるケアマネジャー主催のサービス担当者会議（照会を含む）へ参加し連携を図ると共に、お客様の日常生活の維持改善のために通所介護計画を作成し、アクティビティ活動、運動機能向上のための訓練などを実施した。

ウ 居宅での生活継続支援

日常生活動作に不安を感じられたお客様に対して、デイサービスとしても介護用品・福祉機器の利用などその改善策を提案し、ご家族の介護負担の軽減、居宅での生活継続につなげた。

エ サービスニーズの把握

サービス担当者会議（照会を含む）や各種カンファレンス等の機会を活用し、サービスニーズの把握に努めた。引き続き、要望が多い入浴サービスの提供にも努めた。

オ 接遇マナーの向上

日々のスタッフミーティング、または定例の職員会議の際に、お客様ご家族からの要望や苦情について検討し、サービスマナーの向上につなげた。

カ サービス情報の積極的公開

ホームページや会誌を通じて日常活動状況の情報発信を行った。

キ 安定的経営の努力

送迎体制および職員配置の見直しなど支出の削減を図るため、利用定員を40名から30名に変更し、人件費率を75%から69%に削減するなどの改革を図ったが、欠席率が2割を超え、依然として厳しい経営環境にある。

## 2 各サービスについて

### 1）デイサービス（通所介護事業）

① 第二南陽園在宅サービスセンターでの事業実施日数は306日（積雪のため1日休止）、年末年始を除く月曜日から土曜日まで実施した。令和3年度新規契約者は26名であった。

② 契約終了の方は35名おられ、令和3年3月31日現在の契約者数は73名となっている。なお、契約終了者の内訳は、入院・体調不良11名、対象地域外への転居1名、他の通所介護サービスへの移行2名、老人保健施設入

所、特別養護老人ホーム入所 8 名、死亡 7 名、その他 6 名であった。

利用者の一週間における平均利用契約回数は 2.0 回であった。

③　自宅での入浴が困難な方や何らかの理由により在宅での入浴に不安のある方について入浴サービスを実施した。年 306 回実施し、延べ 1,789 名の利用があった。

④　軽度認知症と診断されている方であってもサービス提供を行っているが、大勢の中での活動が困難な方や、個別の支援が必要な方などについては認知症対応型通所介護への移行をケアマネジャーに提案し、連携しながら円滑な移行に努めている。

⑤　活動は、お客様の希望や体力測定の結果、計画書の目標に添って選択していただき、身体機能の低下が認められる箇所の維持向上を目的としたプログラムを実施した。

⑥　お客様に提供されるサービスの内容確認などを含め、担当ケアマネジャーや他のサービス事業所担当者が参加するサービス担当者会議に令和 2 年度は 13 件参加し、関係機関の連携を深めるように努めた。

⑦　実施行事

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4 月 | お花見会（中止） | 1 月 | 新年会（中止） |
| 5 月 | 新茶の会 | 2 月 | 節分会 |
| 7 月 | 七夕会、納涼週間 | 3 月 | 防災訓練（中止） |
| 9 月 | 敬老週間 | 通年 | 会内散歩 |
| 12 月 | 年忘れ会 | | |

⑧　ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動講師及びボランティアの受け入れは中止した。